

## 2019年度第3四半期決算について

<損益実績(連結)>

	2019 3/四累計	2019 上期	2019 3/四	2018 3/四累計	'18.3/四累計 →'19.3/四累計
売上収益	44,760	30,471	14,288	45,752	- 992
減損等前事業利益 [ROS]	721 [1.6%]	731 [2.4%]	▲ 10 [-0.1%]	2,633 [5.8%]	○ - 1,912 ※5 [-4.1%]
減損損失等※1	▲ 3,514	-	▲ 3,514	-	- 3,514
事業利益※2 [ROS]	▲ 2,793 [-6.2%]	731 [2.4%]	▲ 3,524 [-24.7%]	2,633 [5.8%]	- 5,426 [-12.0%]
個別開示項目※1,3	▲ 932	-	▲ 932	▲ 223	- 709
親会社の所有者に 帰属する当期利益 <1株当たり当期利益>	▲ 3,573 <-388.2>	387 <42.1>	▲ 3,961 <-430.3>	2,066 <234.1>	- 5,639 <-622.4>
EBITDA※4	3,595	2,849	745	5,642	- 2,047
有利子負債	27,334	25,751	27,334	24,623	+ 2,711

D/Eレシオ(表面)	0.97	0.81	0.97	0.79	+ 0.18
劣後ローン・劣後債資本性調整後	0.78	0.65	0.78	0.71	+ 0.07

(※2) 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、並びにその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものであります。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されております。

(※3) 当社グループの営業活動と関連が低く金額の影響が大きい非定常的項目

(※4) 事業利益 + 減価償却費 + 減損損失

(※1) 減損損失等及び個別開示項目

(単位: 億円)

	事業利益	個別開示 項目	合計
鹿島	▲ 1,504	-	▲ 1,504
名古屋	▲ 1,228	-	▲ 1,228
広畑	▲ 447	-	▲ 447
当社単体	▲ 3,179	-	▲ 3,179
日鉄日新	-	▲ 787	▲ 787
減損損失合計	▲ 3,179	▲ 787	▲ 3,966
その他	▲ 335	▲ 145	▲ 480
合計	▲ 3,514	▲ 932	▲ 4,446

日鉄日新については、当社グループにおける最適生産体制構築の一環として、今般異製鉄所の一貫休止を決定したため、個別開示項目「事業再編損」としております。

(※3) 個別開示項目内訳

(単位: 億円)

	2019 3/四累計	2018 3/四累計	'18.3/四累計 →'19.3/四累計	備考
個別開示項目 合計	▲ 932	▲ 223	- 709	
災害損失	-	▲ 223	+ 223	台風・豪雨関連
事業再編損	▲ 932	-	- 932	減損損失、事業撤退損、設備休止関連損失他

(単位: 億円)

<諸元>

(1) 当社

	2019 3/四累計	2019 上期	2019 3/四	2018 3/四累計	'18.3/四累計 →'19.3/四累計
連結粗鋼生産量(万t)	3,550	2,427	1,124	3,579	- 29
単独粗鋼生産量(万t)	2,964	2,022	942	3,078	- 114
鋼材出荷量(万t)	2,734	1,843	891	2,849	- 115
鋼材価格(千円/t)	87.8	87.9	87.4	89.6	- 1.9
為替円/\$)	109	109	109	111	2円高

(2) 全国

	2019 3/四累計	2019 上期	2019 3/四	2018 3/四累計	'18.3/四累計 →'19.3/四累計
粗鋼生産量(万t)	7,431	5,066	2,365	7,792	- 360
鋼材消費(万t)*1	4,519	3,030	1,489	4,690	- 171
(うち製造業)	(2,897)	(1,957)	(941)	(3,027)	(- 130)
<製造業比率>	<64.1%>	<64.6%>	<63.2%>	<64.5%>	<- 0.4%>
普通鋼鋼材消費(万t)	3,576	2,398	1,178	3,704	- 128
建設	1,562	1,034	528	1,603	- 41
製造業	2,014	1,364	650	2,101	- 87
特殊鋼鋼材消費(万t)	943	632	311	985	- 43
国内メーカー在庫(万t)*2	579	595	*2 579	574	+ 5
薄板三品在庫(万t)*2	431	445	*2 431	417	+ 14

\*1 当社推定値 \*2 12月末(差額)

<セグメント情報>

売上収益	44,760	30,471	14,288	45,752	- 992
製鉄	39,888	27,041	12,846	40,432	- 544
エンジニアリング	2,394	1,579	815	2,537	- 143
ケミカル&マテリアル	1,693	1,141	551	1,910	- 217
システムソリューション	*3 1,989	1,502	487	1,901	+ 88
調整額	▲ 1,205	▲ 793	▲ 412	▲ 1,030	- 175

事業利益	▲ 2,793	731	▲ 3,524	2,633	- 5,426
製鉄	▲ 3,153	492	▲ 3,645	2,204	- 5,357
エンジニアリング	83	51	31	57	+ 26
ケミカル&マテリアル	173	113	59	197	- 24
システムソリューション	*3 202	149	52	184	+ 18
調整額	*3 ▲ 98	▲ 76	▲ 22	▲ 10	- 88

\*3 日鉄ソリューションズ(株)の一部物品仕入販売型取引に係る事業利益修正を反映。

システムソリューション事業(19年度計上額): 売上収益▲134、事業利益▲9

調整額(18年度以前計上額): 事業利益▲18

(※5) 減損等前連結事業利益差異の内訳

(単位: 億円)

'18.3/四累計  
→'19.3/四累計

減損等前連結事業利益 差異 - 1,910

1. 製鉄事業 - 1,840

- ① 生産出荷 - 500
  - ② 販売価格・構成 - 160
  - ③ 原料価格(キャリアオーバー含む) - 700
  - ④ コスト改善 + 350
  - ⑤ 在庫評価差 - 330
  - ⑥ グループ会社 - 280
  - ⑦ 為替影響(ストック、フロー) - 60
  - ⑧ 18FY豪雨、台風、地震影響 + 350
  - ⑨ 19FY災害影響(\*) - 380
  - ⑩ その他 - 130
2. 鉄以外セグメント + 20
3. 調整額 - 90

(\*) 君津停電影響、日鉄日新呉火災影響、台風15号影響

# 2019年度年度見通しについて

2020年2月7日  
日本製鉄株

## <損益見通し(連結)>

	2019年度見					'19上期→ '19下見	2018年度	'18年度→ '19年度見	2019年度見 (11月1日公表)
	上期	下見	3/四	4/四見	4/四見				
売上収益	59,000	30,471	28,529	14,288	14,241	-1,942	61,779	-2,779	61,000
減損等前事業利益	540	731	▲191	▲10	▲181	-922	3,369	-2,829	1,000
[ROS]	[0.9%]	[2.4%]	[-0.7%]	[-0.1%]	[-1.3%]	※5 [-3.1%]	[5.5%]	※5 [-4.5%]	[1.6%]
減損損失等※4	▲3,640	-	▲3,640	▲3,514	▲126	-3,640	-	-3,640	-
事業利益※1	▲3,100	731	▲3,831	▲3,524	▲307	-4,562	3,369	-6,469	1,000
[ROS]	[-5.3%]	[2.4%]	[-13.4%]	[-24.7%]	[-2.2%]	[-15.8%]	[5.5%]	[-10.7%]	[1.6%]
個別開示項目※2、※4	▲1,260	-	▲1,260	▲932	▲328	-1,260	▲718	-542	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	▲4,400	387	▲4,787	▲3,961	▲826	-5,174	2,511	-6,911	400
<1株当たり当期利益>	<-478.0>	<42.1>	<-520.1>	<-430.3>	<-89.8>	<-562.2>	<281.8>	<-759.8>	<43.0>
E B I T D A ※3	4,379	2,849	1,530	745	785	-1,319	7,455	-3,076	5,400

(※1) 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、並びにその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものであります。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されております。  
(※2) 当社グループの営業活動と関連が低く金額的影響が大きい非定期的項目 (※3) 事業利益 + 減価償却費 + 減損損失

## <諸元>

### (1) 当社

連結粗鋼生産量(万t)	4,730程度	2,427	2,300程度	1,124	1,180程度	-127程度	4,784	-54程度	4,870程度
単独粗鋼生産量(万t)	3,970程度	2,022	1,950程度	942	1,000程度	-72程度	4,100	-130程度	4,070程度
鋼材出荷量(万t)	3,640程度	1,843	1,800程度	891	910程度	-43程度	3,797	-157程度	3,740程度
鋼材価格(千円/t)	87程度	87.9	86程度	87.4	84程度	-1.9程度	89.9	-2.9程度	87程度
為替(円/ドル)	110程度	109	110程度	109	110程度	1円安程度	111	1円高程度	110程度

### (2) 全国

粗鋼生産量(万t)*1	9,863程度	5,066	4,796程度	2,365	2,431程度	-270程度	10,289	-426程度	
鋼材消費(万t)*2	5,980	3,030	2,950	1,489	1,461	-79	6,232	-252	6,070
(うち製造業)	(3,839)	(1,957)	(1,883)	(941)	(942)	(-74)	(4,033)	(-194)	(3,885)
<製造業比率>	<64.2%>	<64.6%>	<63.8%>	<63.2%>	<64.5%>	<-0.8%>	<64.7%>	<-0.5%>	<64.0%>
普通鋼鋼材消費(万t)	4,726	2,398	2,328	1,178	1,150	-70	4,928	-202	4,804
建設	2,062	1,034	1,028	528	500	-6	2,119	-58	2,104
製造業	2,664	1,364	1,300	650	650	-65	2,809	-144	2,700
特殊鋼鋼材消費(万t)	1,254	632	623	311	311	-9	1,304	-50	1,266

\*1 経済産業省見通し \*2 当社推定値

## <セグメント情報>

売上収益	2019年度見					対前 2019年度 →2019年度見	2018年度	'18年度→ '19年度見	2019年度見 (11月1日公表)
	上期	下見	3/四	4/四見	4/四見				
製鉄	52,700	27,041	25,659	12,846	12,813	-1,382	54,545	-1,845	54,100
エンジニアリング	3,400	1,579	1,821	815	1,006	+242	3,567	-167	3,400
ケミカル&マテリアル	2,200	1,141	1,059	551	508	-82	2,470	-270	2,400
システムソリューション	2,740	1,502	1,238	487	751	-264	2,675	+65	2,935
調整額	▲2,040	▲793	▲1,247	▲412	▲835	-454	▲1,478	-562	▲1,835
事業利益	▲3,100	731	▲3,831	▲3,524	▲307	-4,562	3,369	-6,469	1,000
製鉄	▲3,550	492	▲4,042	▲3,645	▲397	-4,534	2,746	-6,296	500
エンジニアリング	100	51	49	31	18	-2	94	+6	70
ケミカル&マテリアル	190	113	77	59	18	-36	250	-60	210
システムソリューション	*3 270	149	121	52	69	-28	265	+5	280
調整額	*3 ▲110	▲76	▲34	▲22	▲12	+42	11	-121	▲60

\*3 日鉄ソリューションズ(株)の一部物品仕入販売型取引に係る事業利益修正を反映。

### (※4) 減損損失等及び個別開示項目

(単位:億円)

	事業利益	個別開示項目	合計
鹿島	▲1,504	-	▲1,504
名古屋	▲1,228	-	▲1,228
広畑	▲447	-	▲447
当社単体	▲3,179	-	▲3,179
日鉄日新	-	▲787	▲787
減損損失合計	▲3,179	▲787	▲3,966
その他	▲461	▲473	▲934
合計	▲3,640	▲1,260	▲4,900

### (※5) 減損等前連結事業利益差異の内訳

(単位:億円)

	2019上期 →2019下見	対前 2018年度 →2019年度見	2019年度見
減損等前連結事業利益 差異	-920	-460	-2,830
1. 製鉄事業	-940	-460	-2,710
① 生産出荷	-210	-	-660
② 販売価格・構成	-300	-200	-350
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	-270	-	-910
④ コスト改善	+300	~	+500
⑤ 在庫評価差	-130	-100	-440
⑥ グループ会社	-130	-200	-560
⑦ 為替影響(ストック・フロー)	-20	~	-90
⑧ 18FY豪雨、台風、地震影響	~	~	+350
⑨ 19FY災害影響(※6)	+40	+80	-420
⑩ その他	-220	-40	-130
2. 鉄以外セグメント	-70	-	-50
3. 調整額	+90	~	-70

### (※6) 19FY 災害影響内訳

	数量 影響 億円	コスト 影響 億円	2019年度 損益影響 【対11/1公表】			
			2019 上期 億円	2019 下期 億円	2019 下期 億円	
君津落雷	当社	-50	-50	-100	-100	-
日鉄日新 呉火災	当社 連結	-20	-100	-120	-50	-70
台風15号	当社	-70	-130	-200	-80	-120
合計	当社 連結	-140	-280	-420	-230	-190

## 【剰余金の配当(期末)について】

当期の業績見通しは、国内外の鉄鋼需給環境の悪化、災害影響等により収益が悪化したことに加え、事業用資産の減損損失の計上により▲4,400億円の当期損益の赤字となる見通しです。当期末の剰余金の配当については、当期の業績見通し等を踏まえ、誠に遺憾ではありますが、実施を見送ることとさせていただきます(年間配当金としては1株につき10円)。

引き続き厳しい経営環境が続くことが予想されますが、生産の安定化と紐付き価格の是正という従来課題を解決するとともに、全社最適生産体制を早期に構築すること等により、一刻も早い収益基盤の立て直しと財務体質の改善を実現し、株主の皆様に対する利益還元を図ってまいります。

(注) 上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

日本製鉄株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 大西 史哲

TEL (03)6867-2135、2146、2977、3419

<2020年3月期 第3四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	前期			当期			年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2018年度	2,656	2,565	5,222	2,570	2,497	5,067	10,289
2019年度	2,612	2,455	5,066	2,365	2,431程度 <sup>(※)</sup>	4,796程度	9,863程度

<sup>(※)</sup>経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫	(在庫率)	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理	ときわ会H形鋼
	万トン	%	万トン	万トン
2017.12末	567	(149.2)	404	17.5
2018.1末	586	(157.7)	415	18.5
2018.2末	581	(154.4)	413	19.6
2018.3末	578	(139.4)	415	20.0
2018.4末	580	(148.0)	415	19.6
2018.5末	588	(150.2)	434	20.0
2018.6末	593	(149.3)	441	20.7
2018.7末	568	(143.0)	420	20.8
2018.8末	601	(170.7)	439	20.4
2018.9末	623	(176.5)	440	19.8
2018.10末	587	(132.0)	426	18.4
2018.11末	559	(133.8)	414	18.4
2018.12末	574	(151.6)	417	18.7
2019.1末	598	(154.4)	440	19.5
2019.2末	593	(152.5)	441	20.8
2019.3末	593	(141.6)	447	21.9
2019.4末	602	(160.6)	454	22.7
2019.5末	611	(164.8)	462	22.7
2019.6末	612	(161.0)	457	22.0
2019.7末	582	(145.5)	442	20.6
2019.8末	612	(188.8)	457	19.8
2019.9末	595	(157.7)	445	19.1
2019.10末	585	(155.4)	433	18.2
2019.11末	580	(158.0)	434	18.0
2019.12末*	579	(169.4)	431	19.1

\*2019.12末は速報値

## 〔当社〕

## 3. 出銑量（当社＋北海製鉄）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	1,025	1,024	2,049	1,024	1,013	2,037	4,086
2019年度	1,033	1,018	2,052	965	1,010程度	1,980程度	4,030程度

## 4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋連結子会社

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	1,189	1,176	2,365	1,213	1,206	2,419	4,784
2019年度	1,244	1,182	2,427	1,124	1,180程度	2,300程度	4,730程度

【参考：単独ベース】

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	1,029	1,021	2,050	1,029	1,022	2,050	4,100
2019年度	1,027	995	2,022	942	1,000程度	1,950程度	3,970程度

## 5. 鋼材出荷量

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	957	899	1,856	992	948	1,941	3,797
2019年度	911	932	1,843	891	910程度	1,800程度	3,640程度

## 6. 鋼材平均価格

単位：千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	87.2	90.2	88.7	91.5	90.9	91.2	89.9
2019年度	88.1	87.8	87.9	87.4	84程度	86程度	87程度

## 7. 鋼材輸出比率（金額ベース）

単位：%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	41	41	41	40	37	39	40
2019年度	40	41	40	40	38程度	39程度	40程度

## 8. 為替レート

単位：円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	108	111	109	113	110	112	111
2019年度	111	108	109	109	110程度	110程度	110程度

## 9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2018年度	4,408	4,086
2019年度	5,000程度	4,300程度

以 上